

臨時休校アンケート特集②

半数近くが「家事の手伝い」を

休校中の弟や妹のお世話をする人も

- 選択肢1 262人(19.0%) 生活のリズムが乱れそう
- 選択肢2 214人(15.6%) 体を動かすことができない
- 選択肢3 161人(11.7%) どう勉強していいかわからない
- 選択肢4 246人(17.9%) 普段の部活動ができない
- 選択肢5 130人(9.4%) 部活動の試合や演奏会などができない
- 選択肢6 249人(18.1%) スマートフォンなどを使う時間が長くなってしまいそう
- 選択肢7 91人(6.6%) 学校の他の人の様子がわからないので不安になる
- 選択肢8 23人(1.7%) 上記の中で、当てはまるものはない



アンケートからは、リズムが乱れることの不安とともに、図らずも得られた余裕にほっとする東高生の姿が見える。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

〔設問4〕休校になって困ることはどんなことがありますか (複数回答)

「設問4」では、休校になって困ることを複数回答で、「設問5」では、「4」の選択肢にないことを自由記述で聞いた。困ることで一番多かったのは、生活のリズムが乱れそうだ、という点で、回答者の6割弱が選んだ。続いては部活ができない、スマホを使う時間が長くなる、などがあげられた。「設問6」では、選択肢の中から当てはまるものを聞いた。回答者中の半数近くが家事の手伝いをする機会が増えたと答えた。休校中の弟や妹の世話をしている人も78人を数えている。家族との会話も増えた人も多く、何より気持ちの余裕ができたという人が回答者の半数を超えた。困ることもあるが、ゆっくり過ごせる時間ができたこともわかった。

【まとめ】普段と違う休校の中で

突然始まった臨時休校。部活動の禁止など例年の春休み

〔設問6〕休校になって当てはまることはどんなことがありますか (複数回答)

- 選択肢1 78人(8.8%) 休校中の弟や妹の世話をする機会が増えた
- 選択肢2 220人(24.8%) 掃除・洗濯など家事の手伝いをする機会が増えた
- 選択肢3 161人(18.1%) 保護者をはじめ、家族と話す機会が増えた
- 選択肢4 55人(6.2%) 時間の使い方などで保護者とぶつかる機会が増えた
- 選択肢5 6人(0.7%) 介護が必要な祖父や祖母の世話をする機会が増えた
- 選択肢6 78人(8.6%) 社会的な問題について考える機会が増えた
- 選択肢7 242人(27.3%) 休校になって、気持ちに余裕ができた
- 選択肢8 50人(5.6%) 特に当てはまることはない。

とは違うところも多く、今回のアンケートにもその影響が現れた。例えば生活習慣の変化。私たちに生活リズムが大きく関係する。それがなくなると、生活リズムを刻むものがなくなるということであり、その乱れが心配されるのも当然である。実際、休校が始まってまだ一週間ほどだが生活習慣に変化があったという人は多いだろう。また、外で適度な運動を推奨する意見がある一方で、それらをすべきではないという意見も聞く。どちらかというと私たちの間には外出を控えるという考えが浸透しており、それによって体を動かす機会を減らしてしまっている人は多い。体育の授業や部活動の禁止もあいまって、このままだと運動不足になってしまうかもしれない。スマホの使用時間が多くなっている人が多数いたことから依存も心配だ。良い面もあれば家事の手伝いをする人が増えたり、家族間のコミュニケーションが多くなったりしていることがあげられるが、なにせよ臨時休校は私たちの生活に大きな影響を及ぼしている。そしてコロナウイルスは私たちの生活のほかに考え方も影響を及ぼしている。今日、マスクやトレットペーパーの買い占め、それらの高額転売、アジア諸国との軋轢、デマの情報による混乱など、さまざまな問題が発生している。今回のアンケートではそれらに対する意見も多く上がった。今回初めて発生した問題ではないが、この事態によって、身近に感じられるようになり、社会問題に対して少なからず向きあわざるを得ない状況になった。コロナウイルスは私たちの考え方や生活、周囲の環境に影響を及ぼしている。私たちはその影響を理解し、正しい情報を得たうえで強い自制心を持ってこの休みに挑む必要がある。